

ゆうゆう桃井だより

15周年記念号

2022年1月29日発行

発行：NPO法人おでかけサービス杉並 ゆうゆう桃井館
発行責任者：樋口蓉子

ゆうゆう桃井館



2006年におでかけサービス杉並がゆうゆう桃井館の運営を杉並区から受託して15年が経ちました

おでかけサービス杉並 理事長 樋口 蓉子

あれから15年。当時は「敬老会館」と言われ、杉並区による直営施設で、実態としては限られた方達が利用する閉鎖的な施設だったと思います。一方時代は「団塊世代の地域還流」という言葉があったように、高齢者人口が増え始め、リタイア世代がその後の人生を地域でどう生きるかが問われ始めていました。そこで区は、運営を地域住民に任せ（法人格は必要）、創意工夫の溢れる開かれた施設運営に変えていこうという方針転換を行ったのです。そんな時代背景から生まれた「ゆうゆう桃井館」！ 私たちも正直、試行錯誤の連続でした。でも、皆様とも顔なじみになり、段々利用者が増え、皆様の生き生きした笑顔にお目にかかれるようになり、私たちも遣り甲斐を感じるようになっていきました。この「桃井だより」も1月で183号となりました。これまで、沢山の協働事業を実施し（講師やボランティアの方々にはお世話になりました！）、団体利用も増えてきていますが、地域の活動拠点としての役割を果たすことが出来ていますでしょうか。

これからも地域の皆様と共に歩んでまいります。皆様のお声を是非お寄せください。皆様のご理解とご協力を、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

杉並区地域包括支援センター ケア24 清水 センター長 赤間 秀彦

この度は、NPO法人おでかけサービス杉並によるゆうゆう桃井館運営15周年、心よりお祝いを申し上げます。ゆうゆう桃井館は杉並区北西部に於いて、様々な方々を結び付ける重要な拠点となっております。私共もこれまで、『おたのしみ昼食会』や多世代交流を意識した『みんしょく』、『出張相談会』などの催しで関わらせて頂いており、実際に地域の方々の元気な様子を拝見したり、心配な方の情報を利用者さんやゆうゆう桃井館の職員さんから頂くなど、大切な情報交換の場でもあります。しかし、令和2年春先からは新型コロナウイルスが蔓延し、これまでの常識や価値観が覆る事態となりました。高齢者を中心に活力が失われる中、改めてつながりの大切さを意識しているところです。樋口代表は身近なささえあいを広げるための杉並区生活支援体制整備事業における、第1層コーディネーターも務められた地域づくりの大先輩であり、私共もつつい頼ってしまいますが、ゆうゆう桃井館さんの重要なパートナーになれるようご指導、ご鞭撻を頂戴しながらこれからも研鑽に励んで参ります。末筆ながら、ゆうゆう桃井館さんの一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



おかげさまで、『おでかけサービス杉並』がゆうゆう桃井館を区より受託して15年が経ちました。

この間、利用者の皆様の笑顔と温かい言葉に励まされて、無事運営を行うことができました。地域の情報を利用者の皆様や町会、ケア24、民生委員さんなどからいただき、地域づくりに生かすことができました。

これからも皆様と共に桃井館の運営に携わっていきたく思いますので、応援よろしく願いいたします。

（桃井館スタッフ一同）

協働事業のあゆみ

今永 敬嗣さん（シネマサロン講師）



ゆうゆう桃井館の開設は15年前の平成18年、この館のシネマサロンも同時にスタートしています。当時は施設で映画を上映する例はごく少なく、シネマサロンは新規開設の目玉の一つとして、上映用の機材とソフトを所有する私に声がかかったのです。そのため私は映画を待つ人が大勢待ち構えていると思って室に入り、3人の高齢の女性を目にしたときの唖然とした気持ちを、今も思い出すことができます。

最近では来館者が多いため桃井館側で入数を30人（コロナ禍では20人）に制限していますが、次月の予約受付ですぐに満員になるようです。この盛況は入場者とほぼ同年代の私が、体調の思わしくない老齢の妻と二人で、DVDで映画を楽しんだことが、この結果を生むことになったようです。

映画は暗くした室で映画の好きな人たちと、大きな画面と良い音響によって進行する物語に心を奪われると、現実の雑事を忘れて心を洗われた気持ちになります。

私の所有するDVDはまだまだ未上映の映画が沢山残っています。私は現在88歳になりますが、体力が続く限り上映を継続していきたいと考えております。皆さま、共に元気で長生きして、一緒に映画を楽しみませせんか。

2006年4月
ゆうゆう桃井館
スタート!



ゆうゆう健康体操



木曜マーじゃんサロン



ダーツで遊ぼう



絵手紙



シネマサロン



ウォーキング（春&秋）



初心者マーじゃん教室



健康セミナー



地域連携の会



2010年



囲碁サロン

おたのしみ昼食会

お楽しみ料理教室



やさしい英会話



土曜倶楽部（歌声サロン）



おとこのおしゃべり会



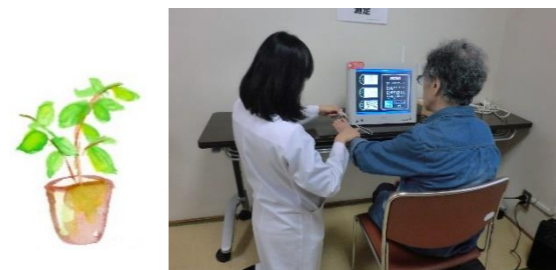
手芸クラブ



書道教室



みんなしよく



桃井健康フェスタ



ストレッチ体操



ウクレレ講座（初級・中級）



民生委員さんと話そう

年度	参加者総数	これまでに開催してきた主な事業
2006年度	3437人	健康体操・マーじゃん・ダーツ・絵手紙・シネマ 携帯電話・フェイスストレッチング・ガーデニング
2007年度	4058人	初心者マーじゃん（現・桃井マーじゃん教室） ウォーキング・健康セミナー
2008年度	4821人	囲碁・地域連携の会・ゴルフ・フラダンス
2009年度	4592人	
2010年度	5683人	おたのしみ昼食会・料理教室 <多目的室開設>
2011年度	5661人	
2012年度	5872人	
2013年度	6618人	やさしい英会話
2014年度	7508人	
2015年度	7544人	土曜倶楽部・おとこのおしゃべり会
2016年度	7135人	手芸クラブ
2017年度	7214人	書道教室
2018年度	7251人	みんなしよく・桃井健康フェスタ
2019年度	6503人	ストレッチ体操・ウクレレ講座
2020年度	3045人	民生委員さんと話そう
合計	86942人	※青字は現在終了している事業です

2009年 区より表彰される

浅倉 須真子さん（絵手紙サロン講師）

絵手紙は、絵のある手紙です。

「ヘタでいい ヘタがいい」の言葉にあと押しされ、絵に自信がなくても、夢中になって描いている自分がありました。友にながく会えない時に、ハガキに文章だけでなく彩色した絵を添えて出します。思った以上に喜ばれます。目の前にある一輪の花や湯のみ等、何でもハガキいっぱい大きく描いて、自分の言葉（一言）をかきます。この「ゆうゆう館」で皆さんと楽しみはじめて15年が過ぎます。私にとっては思い出多い時の流れになっています。ありがとうございます。



団体活動

ゆうゆう館の最初からの利用団体「アジサイクラブ」の二見隆子さんにお話を伺いました。

二見さん：アジサイクラブは清和会町会の役員だった人たちが立ち上げたクラブです。敬老会館を利用して、みんなで集まって書道やコーラスなどを楽しんでいました。敬老会館が「ゆうゆう桃井館」に代わってからも引き続き使わせていただいています。

毎年秋に開催していた発表会ではコーラス、踊り、詩吟などアジサイクラブの人たちが大活躍でしたね。特にフラダンスは素敵な衣装で華やかなダンスがとても印象に残っています。

二見さん：そうですね、みんな良い人たちが仲良く楽しくできました。

桃井館に期待することは？

二見さん：これまで本当に良くしていただいて、大変お世話になりました。アジサイクラブは解散することになりますが、それぞれの活動は続けますので、これからもよろしく願いいたします。



ゆうゆう館の最初からの利用団体「碁遊会」で以前代表をされていた山住義一さんにお話を伺いました。

山住さん：敬老館時代から引き続き利用させていただいています。コロナ感染拡大でどこにも行けなくなった時も、ゆうゆう館は開館していて、皆よろこんでいました。音楽会やその他いろいろな企画で楽しませていただいています。

これからの桃井館に何かありますか？

山住さん：高齢になりましたが、協力できることはできる限りさせていただきたい。囲碁の他にも、土曜倶楽部の音楽会のヴァイオリンやアルパの生の素晴らしい演奏も楽しみです。



碁遊会（囲碁）

アジサイクラブ（コーラス）



エチュード（オカリナ合奏）



ギムナステック（体操）



すみれ会（生け花）



おとこの台所交流会



展示会



風くらぶ（朗読）



西荻ハーモニカ教室



アジサイクラブ（フラダンス）